



talk event

大垣書店 京都本店

2025
4/25
FRI

『触発するサウンドスケープ』（岩波書店）～トークイベント

ゲスト：塩瀬隆之
（京都大学総合博物館）

< 聴くこと > から変わる京都

鳥越けい子

星憲一朗

耳を傾けると見えてくる風景—そこから世界は変わる。

1200年以上の歴史と文化が織りなされる街・京都。

この土地から何を聴きとり、何を感じ、何が見えるのか？

その感性を触発するサウンドスケープとは？

モデレーター：村田武之（文化放送）

街や土地、それぞれの場所で聴こえてくる世界にフォーカスすると、それまで見えなかったその場の表情や特徴・それぞれの意味が見えてくる。それは音を入りに風景にアプローチし、自らの感性を最大限に活かしながら、「場」を捉え直し思索する、いわば関係性の再構築であり、文化の再生活動に他ならない。歴史と文化が集積する京都で、注意深く耳を傾けることから予定調和の感性が揺さぶられ、「文化の再生」への扉が開かれる。

サウンドスケープ研究の第一人者であり様々な地域プロジェクトに関わってきた鳥越けい子、音楽のフィールドから「音」を通し地域の深層と接続するプロジェクトを展開する星憲一朗が、著書『触発するサウンドスケープ～<聴くこと>からはじまる文化の再生』での論考についてゲストを迎えて議論を深めていきます。モデレーターは文化放送の村田武之。京都で視覚障害者とのインクルーシブデザインから3次元音響空間デザインの研究を展開中の塩瀬隆之氏を迎え、それぞれの視座から「<聴くこと>から考える京都の地域文化」について語り合い、これまでになかった切り口で文化の再生の糸口を探ります。



- 開催日時：2025年4月25日（金）18:30～
- 会場：大垣書店 京都本店（下京区四条通室町 SUNA 室町 1F）
- 料金：1500円
- 出演：鳥越けい子（青山学院大学名誉教授 / 日本サウンドスケープ協会代表理事）
星憲一朗（涼音堂茶舗 / 音楽環境研究所代表）
- ゲスト：塩瀬隆之（京都大学総合博物館准教授）
- モデレーター：村田武之（文化放送）

主催：トチノコエ 共催：日本サウンドスケープ協会 後援：岩波書店

お申し込みは



<https://tochinokoe-kyoto.peatix.com/>



トチノコエ：自然界から人間の社会に至る「土地の発する声」を聴き取る活動を展開している星憲一朗・鳥越けい子・村田武之が、それら活動のさらなる展開をめざし2025年春に結成したプロジェクト。



触発するサウンドスケープ～『聴くこと』からはじまる文化の再生

見慣れたはずの風景でも、音から迫れば新たな姿が立ち現れる。

予定調和の感性を揺さぶり、真に環境と向き合うための思索と実践。

目に見える景色がすべてではない。自然の音、人工の音、聴こえる音、聴こえない音——多様な要素が織り成す風景に音からアプローチし、その場らしさを引き出すプロジェクトの数々は、訪れる者の感覚を揺さぶり、身体と土地との繋がりを問う。豊かな感性を取り戻し、真に環境とともにある文化をまなぐ思索と実践。

発売中

『触発するサウンドスケープ』
鳥越けい子 鷺野宏 星憲一朗 著
四六版 240頁 ¥2,970
978-4-00-061630-0 C0070



岩波書店
IWANAMI SHOTEN